

環境経営レポート

(2023年4月～2024年3月)



株式会社サンシン

発行日：令和6年7月1日

株式会社サンシン 環境経営方針

[基本理念]

株式会社サンシンは、合成樹脂原材料の販売を通して、環境への負担を軽減すると共に、地球環境の維持そして継続的改善に努め、あらゆる面で誠意をもって、環境にやさしく行動して参ります。

今やプラスチックは切っても切れないほど生活環境に浸透しています。このプラスチック環境汚染から脱却できるよう企業の社会的責任として、継続的改善を行い未来に繋げていきたいと考えております。

[行動指針]

株式会社サンシンは、上記基本理念に基づき以下の通り環境保全活動を推進致します。

1. 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境の保護に努めます。
2. 環境に関わる法規制及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 企業活動を通じて、以下の事項を重点実施項目として活動致します。
 - 1) 二酸化炭素排出量及び水使用量の削減
 - 2) 廃棄物削減、再利用及びリサイクルの推進
 - 3) 環境関連法規制遵守、環境負荷削減
 - 4) グリーン購入の促進
 - 5) 環境情報等の提供の推進
4. この環境経営方針は株式会社サンシンの全従業員に周知いたします。

制定日：平成19年6月27日

改定日：令和2年3月4日

株式会社サンシン
代表取締役 住田晶範

1. 組織の概要

1) 事業者名 及び 代表者名

株式会社 サンシン 代表取締役 住田 晶範

2) 所在地 及び 連絡先

〒188-0011 東京都西東京市田無町3-3-3 グレイスコート田無本町101
連絡先 TEL 042-451-8777 FAX 042-467-6370

3) ホームページ (2020年1月開設)

<http://www.sunshin.co.jp>

4) 事業内容

プラスチック原材料の販売 及び プラスチック製品の販売

5) 沿革

平成4年(1992年)4月 株式会社サンシン創立(東京都杉並区)
平成16年(2004年)5月 西東京市に本社移転
平成25年(2013年)3月 「エコアクション21」認証取得

6) 事業規模

資本金 1,000万円
従業員数 6人
床面積 73m²
事業年度 4月～3月

2. 対象範囲

株式会社 サンシン 本社 全事業、全活動を対象に活動

レポートの対象期間及び発行日 2023年4月から2024年3月
2024年7月1日発行

3. 主な環境負荷の実績

	単位＼年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-Co2	7,811	6,695	6,786	5,996	7,249
一般廃棄物排出量	kg	19	19	16	17	18
産業廃棄物排出量	kg	—	—	48	—	—
総排水量	m ³	61m ³	41m ³	45m ³	56m ³	58m ³

※ 購入電力排出係数については2015年度より東京電力の0.505(平成26年度実排出係数)を使用

2022年度より東京電力の0.441(令和2年度調整後排出係数)を使用

※ 産業廃棄物(2021年度)は長年使用したオフィスチェアの入替による廃棄

4. 環境経営目標

	2011年度 他基準年	2023年度 (基準年度比)	2024年度 (基準年度比)	2025年度 (基準年度比)
電力の削減(kWh/年) 2017年度より基準年を2014年に変更	5,167kWh/年 1,938 kg-Co2/年	基準年度値 (2014年)	基準年度値 (2014年)	基準年度値 (2014年)
自動車燃料の削減(L/年) 2022年度より基準年を2017年に変更	基準年2012年 4975.35L	新基準年度値 (2017年)	新基準年度値 (2017年)	新基準年度値 (2017年)
一般廃棄物の削減(kg/年) (再資源化以外)	基準年2012年 28.1kg	20%削減	20%削減	20%削減
節水(m ³ /年)	65m ³ /年	5%削減	5%削減	5%削減
事務用品等のグリーン優先購入	優先購入	優先購入	優先購入	優先購入
物質使用量(コピー用紙使用量)	基準年2013年 67.2kg	基準年度値	基準年度値	基準年度値
社会貢献 (会社周辺の清掃及び環境整備等)	以前より実施 継続	継続実施	継続実施	継続実施
製品及びサービス (商品の環境関連データ手配依頼等)	以前より実施 継続	継続実施	継続実施	継続実施

※ 化学物質は使用していないため、目標等の設定はありません。

※ 購入電力排出係数については2015年度より東京電力の0.505(平成26年度実排出係数)を使用。

2014年度までは東京電力の0.375(平成22年度実排出係数)を使用。

2022年度からは東京電力の0.441(令和2年度調整後出係数)を使用。

5. 環境経営計画

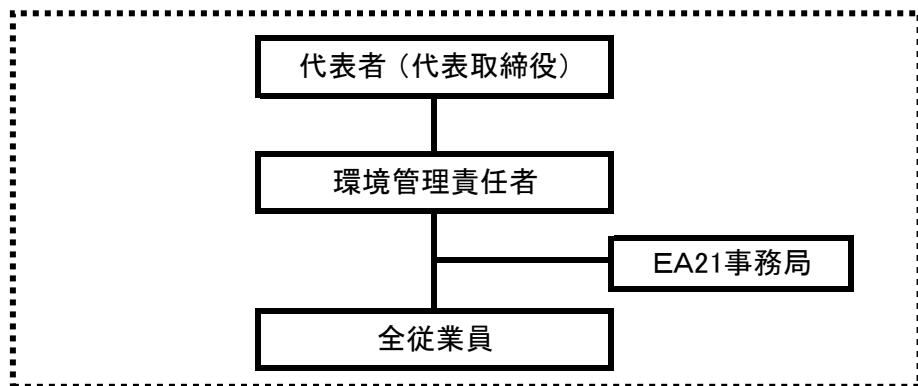
	環境経営計画	基準年度 (4/1~3/31)	目標2023年度 (4/1~3/31)
電力の削減(kWh/年) (kg-Co2/年) 基準年2014年に変更	クールビズ・ウォームビズの奨励、不要照明の消灯、昼光利用、PC省エネ促進、節電ラベル貼付、エアコン設定温度確認(夏27度冬23度)	5,167kWh/年 1,938 kg-Co2/年 (排出係数 0.375)	5,167kWh/年 2,279 kg-Co2/年 (排出係数 0.441)
自動車燃料の削減(L/年)	エコドライブの実施、ルートの効率化、法定定期点検実施、社用車はエコカーを使用(買換え時もグリーン法適合車を購入)	基準2017年度 2628.84L/年	基準2017年度 2628.84L/年
一般廃棄物の削減(kg/年) (再資源化以外)	基準年(2012年度)の20%削減 廃棄物の分別徹底、リサイクルの促進等	基準2012年度 28.1kg/年	20%削減 22.5kg/年
節水(m ³ /年)	節水の呼び掛け、各水回りに節水ラベル貼付、 節水意識の徹底	基準2011年度 65m ³ /年	5%削減 62m ³ /年
事務用品等のグリーン優先購入	グリーン購入法対象 & ECO商品を優先購入	優先購入	優先購入
物質使用量(コピー用紙使用量)	コピー用紙裏紙再利用、注文方法の変更推進	基準2013年度 67.2kg	67.2kg/年
社会貢献	会社周辺の清掃・環境整備・使用済切手寄付	以前より実施 継続	継続実施
製品及びサービス	事業での環境配慮活動推進、取扱い商品(樹脂材料)の環境負荷物質関連データ(SDS・REACH規制物質・RoHS他)手配依頼等	以前より実施 継続	継続実施

6-1. 実施体制

作成日：2012年7月1日

改訂：2023年3月16日

株式会社サンシン 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none">・環境経営に関する統括責任・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備・環境管理責任者を任命・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知・環境経営目標・環境経営計画書を承認・代表者による全体の評価と見直しを実施・環境経営レポートの承認・代表者による課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">・環境経営システムの構築、実施、管理・環境関連法規等の取りまとめ表を承認・環境経営目標・環境経営計画書を確認・環境経営の取組結果を代表者へ報告・環境経営目標達成状況の確認・評価、環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none">・環境管理責任者の補佐、EA21の推進・環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成・環境経営計画の実績集計・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
各担当責任者	<ul style="list-style-type: none">・自部門における環境経営方針の周知・自部門の従業員に対する教育訓練の実施・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告・環境関連の外部コミュニケーションの窓口・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none">・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6-2. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

取組内容	
電力の削減(kWh/年) 2017年度より基準年を2014年に変更	クールビズ・ウォームビズの実施(フリース支給)・不要照明の消灯の実施・昼光利用 PC省エネ促進・エアコンの温度設定を常に確認
自動車燃料の削減(L/年) 2022年度より基準年を2017年に変更	エコドライブの実施(営業部員各自が実施)・営業ルートの効率化実施・エコカー使用
一般廃棄物の削減(kg/年) (再資源化以外)	廃棄物の分別徹底・リサイクルの実施
節水(m³/年)	各水回りに節水ラベル貼付・各自節水の実施
事務用品等のグリーン優先購入	環境対応品の優先購入の実施
物質使用量(コピー用紙使用量)	FAXによる商品発注からメールでの商品発注の切替促進 裏紙再利用の実施
社会貢献 (会社周辺の清掃及び環境整備等)	会社周辺の清掃・使用済み切手寄付
製品及びサービス (商品の環境関連データ手配依頼等)	取扱商品(樹脂材料)の環境負荷物質関連データの手配 (SDS・RoHS2・紛争鉱物・chemSHERPA等)

7-1. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営計画		基準年度 (4/1~3/31)	目標2023年度 (4/1~3/31)
電力の削減(kWh/年) (kg-Co2/年) 基準年2014年に変更	クールビズ・ウォームビズの奨励、不要照明の消灯、昼光利用、PC省エネ促進、節電ラベル貼付、エアコン設定温度確認(夏27度冬21度)	5,167kWh/年 1,938 kg-Co2/年 (排出係数 0.375)	5,167kWh/年 2,279 kg-Co2/年 (排出係数 0.441)
自動車燃料の削減(L/年) 2022年度より基準年変更 2017年度実績	エコドライブの実施、ルートの効率化、法定定期点検実施、社用車はエコカーを使用(買換え時もグリーン法適合車を購入)	新基準年度値 2628.84L/年	新基準年度値 2628.84L/年
一般廃棄物の削減(kg/年) (再資源化以外)	基準年(2012年度)の20%削減 廃棄物の分別徹底、リサイクルの促進等	基準2012年度 28.1kg/年	20%削減 22.5kg/年
節水(m³/年)	節水の呼び掛け、各水回りに節水ラベル貼付、節水意識の徹底	基準2011年度 65m³/年	5%削減 62m³/年
事務用品等のグリーン優先購入	グリーン購入法対象 & ECO商品を優先購入	優先購入	優先購入
物質使用量(コピー用紙使用量)	FAXによる発注からメール発注への切替継続 コピー用紙裏紙再利用	基準2013年度 67.2kg	67.2kg/年
社会貢献	会社周辺の清掃・環境整備・使用済み切手寄付	以前より実施 継続	継続実施
製品及びサービス	事業での環境配慮活動推進、取扱い商品(樹脂材料)の環境負荷物質関連データ(SDS・REACH規制物質・RoHS他)手配依頼等	以前より実施 継続	継続実施

※ 化学物質は使用していないため、目標等の設定はありません

※ 購入電力排出係数については2015年度より東京電力の0.505(平成26年度実排出係数)を使用

2014年度までは東京電力の0.375(平成22年度実排出係数)を使用

2022年度からは東京電力の0.441(令和2年度調整後出係数)を使用

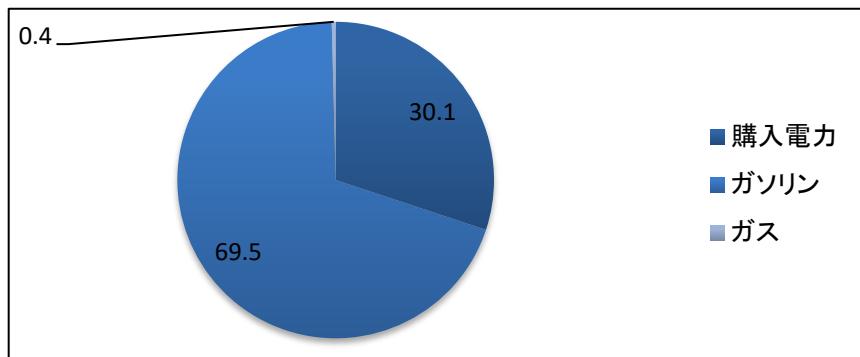
7-2. 環境経営目標及び計画の実績・取組結果とその評価

	目標 2023/4/1～ 2024/3/31	実績 2023/4/1～ 2024/3/31	判定	実績・取組結果とその評価
電力の削減(kWh/年) (kg-Co2/年)	5,167kWh/年 2,279 kg-Co2/年	4,947kWh/年 2,181.63 kg-Co2/年	○	2023年度も引き続き2014年度の数値を目標値に設定し社員各人が率先して削減に向けての活動を行った。月別目標はエアコン使用量に因るところが大きく、天候に左右され達成できない月もあったが年間では目標を達成した。次年度も同じ目標値で設定する。
自動車燃料の削減(L/年)	2628.84L/年	2,172.18L/年 5,039.46 kg-Co2/年	○	2022年度より目標を2017年度実績に変更し、2023年度も2022年度と同じ目標値で設定。次年度も同じ目標値で設定する。
一般廃棄物の削減(kg) (2012年度実績に対し20%削減)	22.5kg	17.809kg	○	一般廃棄物について2023年度も2012年度実績に対して20%削減で計画を立てた。産業廃棄物については通常は発生しないので目標設定はしておらず今年度もなかった。次年度も一般廃棄物について同じ目標値で設定する。
産業廃棄物(目標設定外)	—	—	—	
節水(m ³ /年)	62m ³ /年	58m ³ /年	○	2023年度も前年と同じ目標値に設定する。次年度も同じ目標値で設定する。
事務用品等のグリーン優先購入	優先購入	20品目中14品目 (約70%)	—	「エコアクション21ガイドライン」2017年度版ではグリーン購入の実践は必須の要求事項ではなくなったが、2023年度も引き続き優先購入を目標にして実施した。物価上昇により難しい面もあるが次年度も継続して優先購入に努める。
物質使用量(コピー用紙使用量)	67.2kg	39.9kg (19冊)	○	2023年度も基準年(2013年度)の数値を目標に設定。COVID19の世界的流行による仕入先企業の在宅勤務導入を機に従来のFAX注文から電子による注文方法への変更も促進されているようであるが2024年度も2013年度実績を目標値に設定して様子を見る。
社会貢献	以前より実施 継続	継続実施	○	引き続き会社周辺の清掃・環境整備等を実施。使用済切手も集めて寄付。今後も何ができるか検討する。
製品及びサービス	以前より実施 継続	継続実施	○	客先のニーズに合わせ2023年度も迅速な対応を心掛けていたが、書類の提出までに時間がかかるメーカーもあるので客先にはその旨ご理解頂く場合もある。今後も適切な対応を心掛けていきたい。

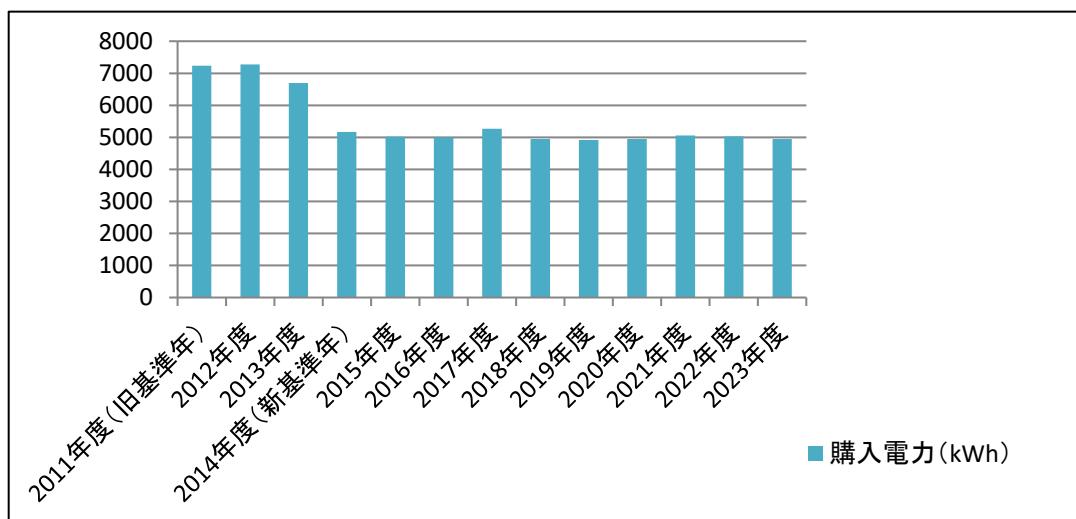
※ 2023年度CO2総排出量(実績)は、7,249.16kg-Co2

7-3. 環境活動計画実績比較

《環境負荷における各種エネルギーの占める割合(%)》 2023年度



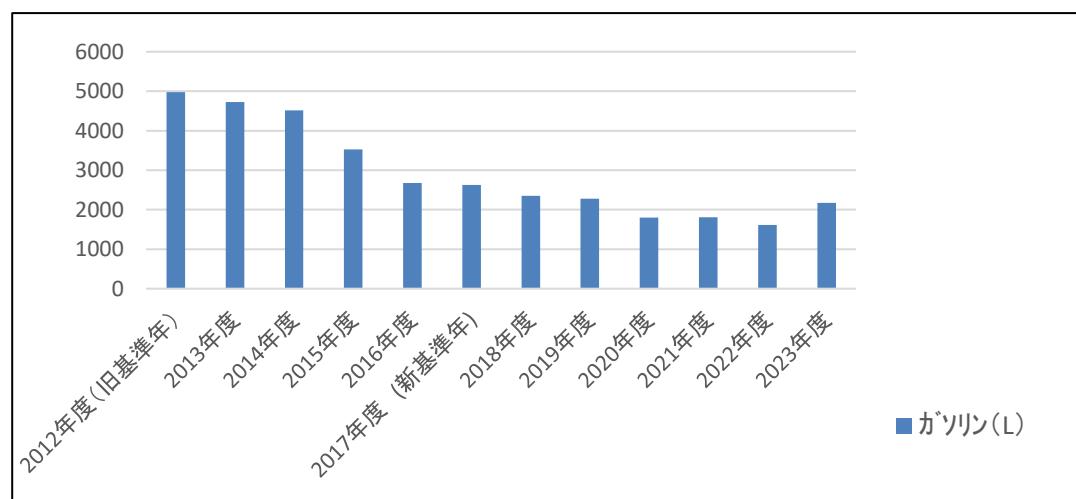
《購入電力推移グラフ》 単位:kWh



★ 購入電力について、2017年度から基準年を2014年度に変更している。

購入電力は2014年6月に空調を新調した為、2014年度に大幅に削減となった。

《ガソリン使用量推移グラフ》 単位:L



★ガソリン使用量の目標値について、2022年度からは2017年度実績に変更した。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今年でエコアクションを始めて10年が経過しました。

新型コロナウイルスも終息し通常の生活に戻りつつあり少しづつではありますが
営業活動を再開した為、ガソリンの使用量が増えております。

来年度は何か対策を行いたいと思っています。

今後も継続的にエコアクションを行い社会貢献できるよう努力致します。

環境経営方針 変更の必要なし 変更要

環境経営目標・計画 変更の必要なし 変更要

実施体制 変更の必要なし 変更要

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

当社に提要される主な環境関連法規等について、2024年4月に遵守評価を実施した結果
これらへの違反はありませんでした。

また、関連当局より違反等の指摘は過去3年間なく、訴訟もありません。